

第六次高山村総合計画後期基本計画策定に係る提言書

グループ	メンバー名
B	田村進一、松本浩明、涌井俊広、真出智真、松本康志

提言 1

エネルギー循環型社会の形成

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨） バイオマス、バイオガス、温泉エネルギー、水力等を活用した発電システムを導入し、エネルギーの地産地消と売電で収益化を図る。

（内容） 豊かな森林や標高差は再生可能エネルギーの源である。農業残渣等を堆肥化する過程でも熱やガスが発生する。それらを小規模発電のエネルギー源として活用する。

〔イメージする将来の姿〕

- ・ エネルギーの地産地消と売電による収益化
- ・ 発電材料確保のための森林整備、耕作放棄地の活用にもつながる。
- ・ 災害時でも独自エネルギー源を持つことで、災害に強い村づくりとなる。
- ・ 水力発電のために松川の水質改善ができれば、魚の住む川とすることができ、豊かな自然をよりアピールできる。

提言 2

林業を軸とした循環型社会の形成と展開

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨） 計画的な森林整備で豊かな山林を形成する。

（内容） 間伐、倒木等の処理を継続的に実施し、将来の優良な建材を確保すると同時に、針葉樹から広葉樹への植替えで森林の多様性を回復させる。倒木や間伐材等の活用で林業従事者の生活保障をする。

①CLT材で住宅・公共施設の建設、②薪ストーブ、ペレットストーブ等の暖房用燃料、③バイオマス発電の原料としての活用、④木工品販売 など

〔イメージする将来の姿〕

- ・ 林業従事者等の外部人材を呼び込む。
- ・ 観光資源としての活用
- ・ 花粉症対策
- ・ 森林整備で害獣対策も期待できる。

提言 3

観光事業振興のための諸政策

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨）新たな観光資源の掘り起こしと効果的なイベント等の企画で観光客のビジター化を図る。（新組織一般社団法人高山村観光機構（仮））

（内容）①近隣市町村を訪れる観光客を本村に誘導する仕組みづくり、②ビジターをリピーターに繋げる仕組みづくり、③観光客が広告塔になる仕組みづくりの3点を軸として、

- ・旧山田共選所に飲食店と買い物施設の設置
- ・山田温泉を「温泉街」にして日帰り客の居場所を作る
- ・新たなトレッキングルートの整備 など

〔イメージする将来の姿〕

- ・観光客の増加で「村外貨」の獲得
- ・観光客観光客を連れて来る魅力を作り出す。

提言 4

観光事業振興のための基礎条件の整備

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨）観光資源を整備するために資金を獲得し（国、県の補助金）、回る仕組みを作る。

（内容）観光客等に負担金（景観保護協力金等）を求めるなどして、観光客が村内で消費する金銭が個別の業者だけでなく、観光事業で活用できるような仕組みを作る。

また、バイオトイレの設置など、来訪した観光客が不満を残さないように施設を整備する。

駐車場の整備事業等。

〔イメージする将来の姿〕

- ・観光業独自の資金が獲得できれば、各施設をより充実でき、さらに観光客を呼び込むことができる。

提言 5

農業・牧畜を観光業と結びつける諸政策

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨）山田牧場のグリーンシーズン化に取り組み、観光客が動物と触れ合える「体験型の観光牧場」にする。そのための牧畜振興の一環として、小麦・大豆等の飼料作物の栽培を支援するとともに、牧場でのヤギ、ウサギの飼育をはじめとした多種動物の牧場化に取り組む。

（内容）牧場でヤギやウサギを飼育し、動物と触れ合える場とする。ヤギや乳牛のミルクからチーズを作る体験なども実施する。

ヤギの貸出しで休耕地の雑草除去に取り組む。

休耕地を活用して飼料作物を栽培し、牧畜業者を支援する。

〔イメージする将来の姿〕

- ・体験型観光で観光客のリピーター化に繋げる。
- ・牧畜を活性化することで、堆肥の村内での自給自足を推進し、低農薬有機栽培の農産物を提供できる。

提言 6

既存製品のブランド化と販売強化、新たな協業団体の組織化

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨）既存農産物の高級ブランド化を強化し、新たな村内産業を生み出す。

（内容）例えばリンゴをみても、栽培面積や収穫量は減少の一途を辿っている。対策として①品質維持、②就農環境の改善、③新たな販売戦略の構築、ルートの開拓が急務である。そのため、生産から販売・技術指導・労働力の配分などを実施及び調整できる村独自の生産者団体を創設し、必要な設備等をレンタルできるような仕組みを作る。

〔イメージする将来の姿〕

- ・本村のリンゴは他地域に比べて高品質と評価が高い。更なる高級ブランド化を図り、この強みを活かして「信州高山さわやかりんご」の高い評価を維持発展させていく。
- ・リンゴの高級ブランド化の取り組みが軌道に乗れば、ブドウなど他製品にも取り組みが拡大する可能性がある。

提言 7

「福祉の村」構想の具体化

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨）高齢者ユーザー建住宅を複数建設し、都市部からの移住促進を図るとともに、農業体験などを通じて入居者の社会参加と地域交流を促す仕組みを作る。

（内容）耕作放棄地等を活用して高齢者ユーザー建住宅を建設する。建材には森林整備で発生した間伐材等を活用する。景色と温泉、農業体験をアピールして入居者を募集し、入居者には近隣の農作業補助も実施してもらうことができるようにする。『プラチナタウン構想』による新たなコミュニティー戦略を展開する。

〔イメージする将来の姿〕

- ・定年後安心して住み続けられる村づくり【クラインガルテン田舎暮らし体験】
- ・子どもと高齢者のふれあいの場づくり
- ・福祉関係者の移住促進

提言 8

交通弱者対策

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨）国土交通省の制度を活用して、公共交通網を整備する。

（内容）国交省の特区制度を活用し、近隣市町村へもコミュニティバスの運行可能とする体制を構築する。

買い物や通院の便宜となる体制作り。

また、現状では幹線道路にのみバス停があり、幹線から離れた集落住民の活用は困難だと思われるので、別途ライドシェア等々新たな公共交通戦略が必要である。

〔イメージする将来の姿〕

- ・高齢者にとってのバス利用や、子ども・生徒の通学の利便性を向上させる。
- ・放課後に子どもが集まる場所を作っても交通の便が悪いと活用できないが、その懸念が解消できる。

提言 9

役場組織の改編

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨）役場内に各部署横断型の総合戦略企画室（仮称）を設置し、長期的ビジョンの立案・指揮を担当させる。

（内容）企画室には村の未来を担う戦略の構築等、権限と人材を集め、①重点目標設定を軸とした政策化、②政策実行のための資金の手当てとして国の補助金政策を検討及び申請できる専門集団の育成、③その人材による村独自の戦略の立案実行を担当させる。

そのため、役場職員の思い切った登用、県外や県内からあらたな人材募集を行う。また、『国内留学・企業研修を実施し、外部の知識やスキル』人脈を形成させる。

〔イメージする将来の姿〕

- ・現在は各部署でそれぞれに実施されている諸政策を、重点課題を軸としてまとめることができる。

提言 10

観光協会の一般社団法人化【高山村観光機構】

〔概要説明〕 趣旨・意図等

（趣旨）観光協会を一般社団法人として村の機関から一定程度独立させ、各種事業の実施主体として機能させる。

（内容）提言9の総合戦略企画室が政策立案・推進のヘッドクォーターとなった場合に、その実施機関として、その役割を一般社団法人化した観光機構と連携する。

新組織の観光機構に、村内公共温泉等の経営等独立した権限と採算性を担わせ、村内外の企業団体や大学との具体的連携や事業の実施に向けた、小回りのきく非営利の一般社団法人を目指す。

〔イメージする将来の姿〕

- ・総合戦略的な政策の実行部隊としての役割と、観光事業の新たな受け皿的な役割 県外での商談等をまとめる役割が期待される。